



市場の期待に応える新商品開発力の拡大

代表取締役社長
武田 安夫

山陽特殊製鋼技報第20巻の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本年は、当社創立80周年の節目の年に当たります、この節目の年に第20巻を発刊できることを大変嬉しく思います。これもひとえに皆様方のご支援ご鞭撻の賜物と感謝申し上げます。

現在、当社は8次中期計画に取り組んでおり、本年度が最終年度となります。設備装備力として最新鋭の「60t電気炉系の新連続鑄造設備」「5000t自由鍛造プレス」を初めとした大型設備投資により月産10万トン体制を構築し、拡大する特殊鋼需要を確実に捕捉する体制を整えました。

また、8次中期計画においては、「技術先進性」を大きな機軸に掲げて推進しております。ものづくりの企業にとって、競争力の大きな源泉のひとつに技術開発があることは言うまでもありません。

「高信頼性鋼の山陽」ブランドを更に強化するために、品質向上、国際競争力強化のためのプロセス開発に取り組んでおり、特に当社のコア技術である「高潔淨鋼製造技術」を駆使したプレミアム商品の開発には特段注力して参りました。

今回の技報にも紹介していますように、「高信頼性長寿命軸受鋼PremiumJ2」、「熱間金型用鋼QD61-HARMOTEX®」、「窒化粉末ハイスSPM X4N」を代表とする技術先進性を具備した新商品拡充ができ、市場でも大きな評価を得られていることは大変嬉しく思います。

引き続き、「高信頼性鋼の山陽」ブランドを担う、市場ニーズを先取りしたプレミアム商品の間断なき研究開発を推進し、市場の期待に応えていきたいと思っております。

本年、当社は創立80周年を迎えます。この間、継続して「高潔淨度鋼製造技術」を初めとする技術および商品の開発に取り組んでまいりました。引き続き高品質で高機能な差別化商品や製造技術を開発するとともに、技術先進性の拡大を推進し、新商品提案力、品質対応力、納期対応力を維持、拡大することで、お客様のニーズに迅速、的確に応えたいと思っております。さらに、取り巻く環境変化を先取りし、強靱な企業体質の構築とさらなる成長戦略を今後とも目指してまいりたいと思っております。

今後とも皆様方の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。